

平成30年度第1回研究評価（内部評価：追加）の結果

国立研究開発法人建築研究所は、次の日程により、下表に示す平成30年度に実施予定の研究課題について研究評価（内部評価）を実施した。内部評価にあたっては、国立研究開発法人建築研究所研究評価実施要領（平成27年4月1日理事長決定）に基づき、事前評価を実施した。事前評価の研究課題については実施することが適当と評価を行った。

1. 内部評価の開催日
平成30年11月6日

2. 評価項目

2-1. 事前評価

- 1) 研究開発の目的、必要性
- 2) 建築研究所が実施する必要性
- 3) 達成すべき目標、評価の指針
- 4) 目標達成の可能性
- 5) 研究体制
- 6) その他、研究課題の内容に応じて必要となる事項

3. 評価区分

3-1. 事前評価

- a: 新規研究開発プログラムとして、提案の内容に沿って実施すべきである。
- b: 新規研究開発プログラムとして、内容を一部修正のうえ実施すべきである。
- c: 新規研究開発プログラムとして、大幅な見直しを要する。

4. 対象課題

4-1. 事前評価

番号	研究グループ等	プログラム	種別	課題名	実施期間	研究課題の概要	評価
1	防火	安全・安心	一般	避難安全性を考慮したガス有害性試験の妥当な基準材選定に関する研究	30-31	本研究では、ガス成分分析を用いたガス有害性試験手法の提案を最終目標とし、その実現に向けた技術的な課題の内、現基準材である赤ラワンが避難安全に与える影響および現在の建材市場にあった基準材の選定の2点に関する検討を行う。	a